



記者発表資料

令和2年度 甲府河川国道事務所の事業概要

甲府河川国道事務所では、「国民の安全・安心の確保」や「豊かで暮らしやすい地域づくり」に向け、令和2年度は、約232億円（維持管理費、調査費等を除く）の事業費をもって、河川・道路事業を実施します。

【主な河川事業】

■富士川河川改修事業

浸水被害の解消、大規模災害時の迅速な復旧活動のため、

富士川で、『切石・手打沢地区築堤』等の整備を推進します。

■富士川総合水系環境整備事業

賑わい、豊かな自然環境を備えた水辺の創出に向け、

笛吹川で、『笛吹石和地区水辺環境整備』等の整備を推進します。

【主な道路事業】

■改築事業

・『中部横断自動車道（富沢IC～六郷IC間）』の令和2年全線開通及び『大月バイパス』の令和2年度内での開通に向け整備を推進します。

■交通安全・無電柱化事業 等

・令和2年度、交通事故重点道路事業の新規事業箇所である『国道20号韮崎市一ツ谷交差点』『甲斐市竜王（三社神社入口交差点）』『笛吹市広瀬交差点』について調査・対策検討を行います。
・道路の防災性向上や景観形成のための無電柱化の整備を推進します。

■道路調査

・『中部横断自動車道（長坂～八千穂）』の事業化に向けて、都市計画、環境アセスメントを進めるための調査等を実施します。
・近年の激甚化する自然災害の状況を踏まえ、中央道・国道20号軸の機能強化を検討を行います

【事務所全体】

・令和元年10月の台風19号による河川の護岸崩壊、法雲寺橋の橋脚沈下など、管内で甚大な被害が発生しました。
今年度も引き続き、災害の復旧・復興を目指し事業を推進します。
・建設産業・管理の生産性向上に向け、3次元データを活用した取組（i-Construction）を推進します。

発表記者クラブ

山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、神奈川建設記者会、竹芝記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 甲府河川国道事務所

住所：山梨県甲府市緑が丘1丁目10-1 電話055-254-6571（計画課）

地域広報官：河川副所長 金子隆信（かねこたかのぶ）、道路副所長：松澤尚利（まつざわなおとし）

目次

【河川事業】

管内図（河川）	3
事業費（河川）	4
富士川切石・手打沢地区築堤 他	5
富士川木島地区河川防災ステーション	6
笛吹川笛吹石和地区水辺環境整備 他	7
防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策	8
維持管理	9
河川水位等の情報提供の強化	11

【道路事業】

管内図（道路）	12
事業費（道路）	13
中部横断自動車道（富沢～六郷）	14
国道 20号 新山梨環状道路 北部区間	15
国道 20号 大月バイパス	16
国道 20号 新笹子トンネル改修	17
国道 52号 上石田改良	18
国道 138号 新屋拡幅	19
国道 139号 都留バイパス	20
国道 20号 交通事故重点対策道路	21
国道 20号 四方津地区歩道整備	22
国道 20号 初狩地区歩道整備	23
国道 52号 鰍沢地区歩道整備	24
国道 139号 天神山歩道整備	25
国道 138号 山中湖自転車歩行者道整備 他	26
国道 20号 甲斐電線共同溝	27
国道 139号 富士北麓・富士北麓(2)電線共同溝 他	28
維持管理	
（防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策）	29
道路メンテナンス会議	32

【事務所全体】

富士川 災害対策等緊急事業推進（釜無川）	33
国道 20号 法雲寺橋災害復旧	34
i-Construction	35

事業費(河川)

令和2年度 甲府河川国道事務所 事業費(河川)

(単位:百万円)

事業名		事業費
河川改修費	・富士川 切石・手打沢地区築堤 ・富士川 木島地区河川防災ステーション	608
総合水系 環境整備事業費	・富士川 増穂Ⅱ期地区水辺環境整備 ・笛吹川 笛吹石和地区水辺環境整備	181
合計		789

※上記のほか、河川維持修繕費、諸経費等がある。

【事業の概要】

みのぶちようきりいし てうちざわ

身延町切石・手打沢地区は、身延町役場があり、災害時には町の中核機能として重要な箇所ですが、昭和34洪水、昭和57洪水では堤防が無い、或いは低い箇所の為、浸水被害が発生しました。

このため、築堤護岸整備を実施し、浸水被害の解消を図ります。

【令和2年度の予定】

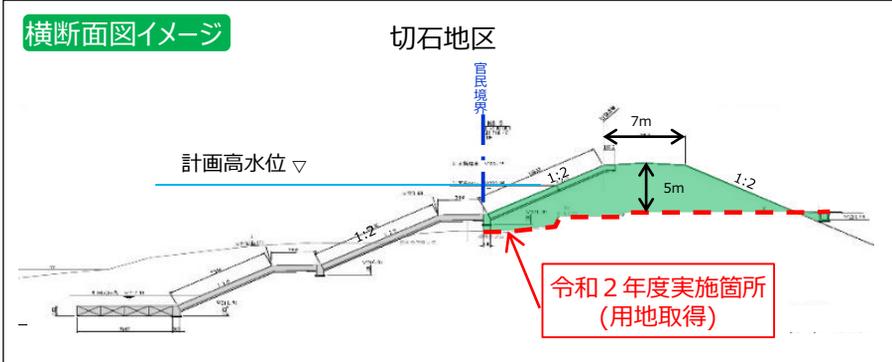
きりいし てうちざわ

切石・手打沢地区の用地の取得を実施します。

位置図



横断面図イメージ



【事業の効果】

無堤防地区の築堤護岸等を整備し、戦後最大降雨(昭和57年洪水)による浸水被害の解消を図ります。

ふじかわ きじま
富士川 河川改修事業（木島地区河川防災ステーション）

【静岡県】直轄

【事業の概要】

富士川下流部は人口、資産が集中する加島平野を抱えるとともに、東名高速道路や東海道新幹線等の東西日本を結ぶ大動脈が存在するため、ひとたび氾濫すれば甚大な被害が生じる恐れがあります。また、当地区は南海トラフ巨大地震による被害も懸念されています。

このため、氾濫時や大規模災害時において、迅速な復旧活動を行うための、河川防災ステーションを整備します。

【令和2年度の予定】

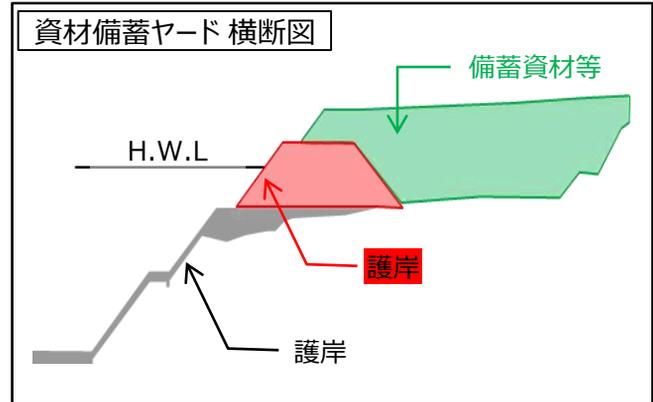
資材備蓄ヤードの護岸の整備を実施します。



災害時においては、水防センターや一時避難場所として活用され、また、ヘリポートなど水防活動の拠点となります。



災害時においては、被災箇所の迅速かつ円滑な復旧活動を行うための資機材提供を行う拠点となります。



凡例

	: 令和元年度まで
	: 令和2年度
	: 残事業

【事業の効果】

河川防災ステーションを整備することにより、大規模災害時において、迅速な復旧活動の拠点となります。

【事業の概要】

ふえふきがわ いさわ

かわなかじま

現在、笛吹川の石和地区の下流においては、サイクリング、散策等の日常的な利用や、川中島合戦戦国絵巻、花火大会、体験型鶴匠等のイベントなど、様々な河川利用がなされています。

笛吹市における「笛吹市ミズベリング構想」では、笛吹川の石和地区、石和温泉街等の周辺地域も含めて一体的に整備を行うことにより、市民の憩いの場、観光資源として更に魅力的なまちづくりを目指しています。

本事業では、「笛吹市ミズベリング構想」を踏まえ、「笛吹市かわまちづくり」計画に基づき、河川利用上の安全安心を確保した上で水辺の活用を行うことができるよう親水護岸を整備し、河川空間の利用促進による地域活性化を図ります。

【令和2年度の予定】

親水護岸等の整備を実施します。



【事業の効果】

笛吹市の「かわまちづくり」と連携して親水護岸の整備を実施し、河川空間の利用促進により地域活性化に寄与します。

その他の環境整備事業

箇所名	令和2年度の事業内容
ますほ 増穂Ⅱ期地区 水辺環境整備	モニタリングを実施

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策(河川)

【山梨県及び静岡県】直轄

【事業の概要】

平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、洪水時の危険性に関する緊急対策として、緊急的に樹木伐採等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

【実施内容】

○水害・土砂災害から命を守るインフラの強化

氾濫による危険性が特に高い等の区間において、樹木・堆積土砂等に起因した氾濫危険性解消を実施

【令和2年度の予定】

まんりきおおはしかりゆうちく

万力大橋下流地区などの樹木伐採を行います。



維持管理(1)

【事業の概要】

富士川は長野・山梨・静岡の3県にまたがる流域面積が3,990km²、幹線流路延長が128kmの一級河川で、そのうち甲府河川国道事務所で管理する延長は、富士川、釜無川及び笛吹川等合わせて約122kmです。

沿川住民が安心して生活でき、多くの人々から親しまれる河川とするために堤防、護岸、河川構造物等の河川管理施設の維持・管理や堤防除草、河川巡視や定期的な点検等を実施しています。

【令和2年度の予定】

○日常管理

- ・堤防、護岸や排水機場等の河川管理施設の点検を行います。点検により、変状が確認された際には、補修等を行います。
- ・堤防の状態を点検・把握するために堤防除草を実施します。
- ・川の機能が正常に保たれているか、また堤防や樋管などに変状がないかなど、管内の河川巡視を実施します。

堤防点検



河川管理施設の点検



堤防除草



河川巡視



維持管理(2)

○緊急時の対応

- ・洪水や地震が発生した場合は、堤防、護岸、樋門、及び排水機場などの状況を確認し、被災に対して迅速に対応します。



令和元年台風19号の出水の影響により
河岸侵食が発生。(韮崎市下條東割地先)
にらさきしもじょうひがしわり



・被災後、緊急対応として根固めブロックの設置を実施。

○河川の機能を維持するための工事

- ・洪水時の安全な流れの阻害となったり、河川の状況把握に支障となる河川内に繁茂した樹木の伐採を行います。



樹木伐採



・河道内に著しく繁茂した樹木により、洪水時に水が流れにくくなります。また、河川の状況の把握が出来なくなります。



(令和元年度実施箇所)
(笛吹市石和地先)

・樹木伐採により、洪水を安全に流下させます。また、河川の状況の把握が容易に出来ます。

○コスト縮減への取り組み

- ・伐採した樹木については、一般へ無料配布を行うことにより処分費にかかる経費の縮減を行っています。
- ・平成27年度から、更なる経費の縮減を行うため、公募による樹木の伐採を行っており、今年度も継続して実施していきます。



(令和元年度無料配布の状況)
(静岡県富士宮市宮下地先)

河川水位等の情報提供の強化

【事業の概要】

- ・富士川水系においては、河川水位の概況を迅速かつ簡便に把握するため平成26年度より危機管理型水位計の設置を行い、直轄河川管理区間における氾濫危険箇所の監視や自治体への避難判断の支援等を進めてきました。
- ・令和2年4月現在、富士川管内の81箇所に危機管理型水位計が設置されています。

【令和2年度の予定】

- ・今年度は初期に設置した水位計を更新し監視体制の充実を図ります。
- ・また、従来のCCTVカメラに加えて洪水による越水の危険度が高い箇所を中心に簡易型の河川監視カメラを設置し、防災情報の迅速かつ的確な把握、提供を図ります。

【危機管理型水位計】



【簡易型河川監視カメラ】



※簡易型河川監視カメラについては、設置イメージであり、現地に設置される物と異なることがあります。

【事業の効果】

- ・危機管理型水位計や簡易型監視カメラにより、氾濫の危険性が高い箇所における水位や河川の状況把握が容易になり、迅速な対応が可能となります。

管内図(道路)



道路管理延長 (単位:km)

管理路線	延長
20号	102
52号	72
138号	14
139号	52
中部横断自動車道	15
合計	255

事業費(道路)

令和2年度 甲府河川国道事務所 事業費(道路)

(単位:百万円)

事業名		事業費
改築事業		19,804
	中部横断自動車道(富沢～六郷)	15,136
	国道20号 新山梨環状道路 北部区間	1,100
	国道20号 大月バイパス	2,313
	国道20号 新笹子トンネル改修	100
	国道52号 上石田改良	580
	国道138号 新屋拡幅	505
	国道139号 都留バイパス	70
交通安全事業	国道20号 交通事故重点対策道路(新規事業) 国道20号 四方津地区歩道整備 国道20号 初狩地区歩道整備 国道52号 鰍沢地区歩道整備 国道138号 天神山地区歩道整備 国道138号 山中湖自転車歩行者道整備 他	1,132
無電柱化事業	国道20号 甲斐電線共同溝 国道139号 富士北麓(2)電線共同溝 他	1,471
合計		22,407

※上記のほか、道路維持管理費、調査費及び調査補助等がある。

改築事業

中部横断自動車道(富沢～六郷)

令和2年度事業費:151.4億円

【事業の概要】

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を經由し長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

山梨県区間の富沢ICから六郷ICの28.3kmについては、平成17年度より直轄高速事業として着手し、事業を進めています。そのうち、下部温泉早川ICから六郷IC間8.4kmは平成31年3月10日、富沢ICから南部IC間6.7kmは令和元年11月17日に開通しました。

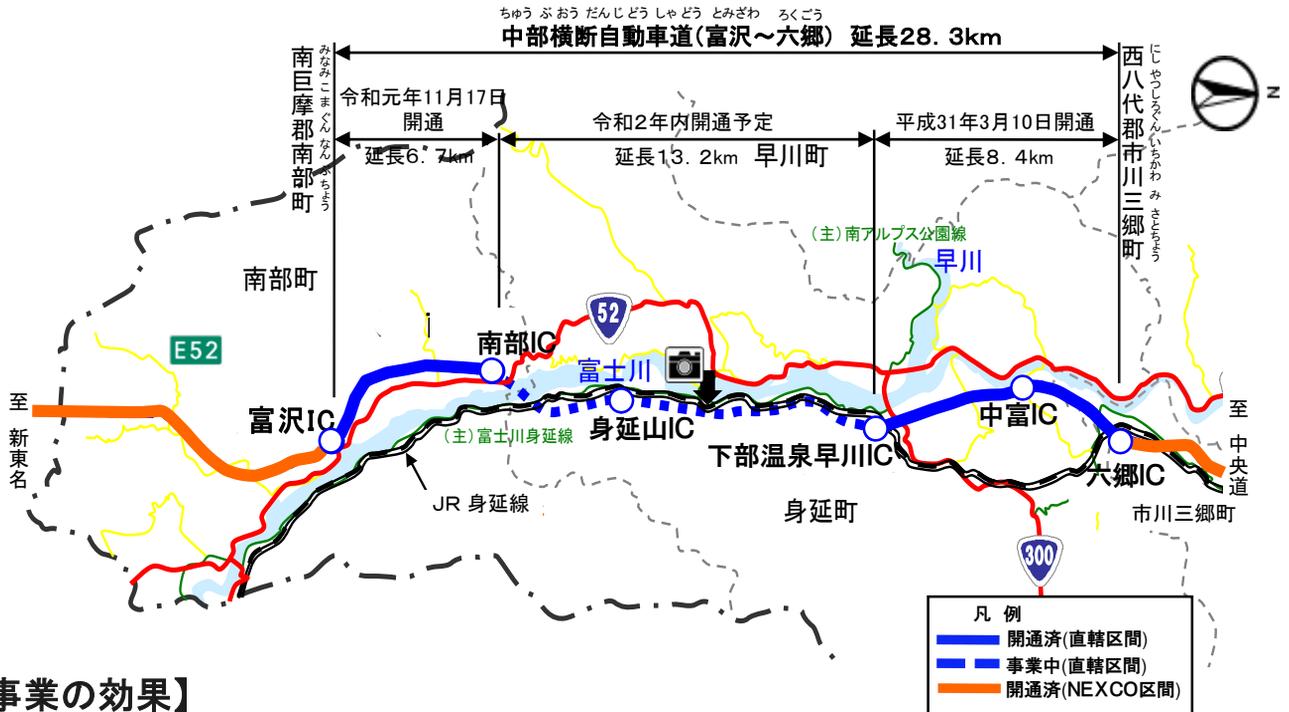


【令和2年度の予定】

富沢ICから六郷IC間のうち、南部ICから下部温泉早川IC間は令和2年内の開通を目指し、調査設計、改良工事、トンネル工事、橋梁上部工事、舗装工事、施設設備工事を推進します。



桑柄川橋施工状況



【事業の効果】

- 東海地震等による広域的な災害時の救急・救援ルートとして機能します。
- 地域間をつなぐ高速道路ネットワークの形成が図られ、広域的な物流体系や観光周遊ルートの形成などにより、地域を支える産業・雇用等の創出に寄与します。

改築事業 国道20号 新山梨環状道路 北部区間

しんやまなし

ほくぶ

令和2年度事業費：11.0億円

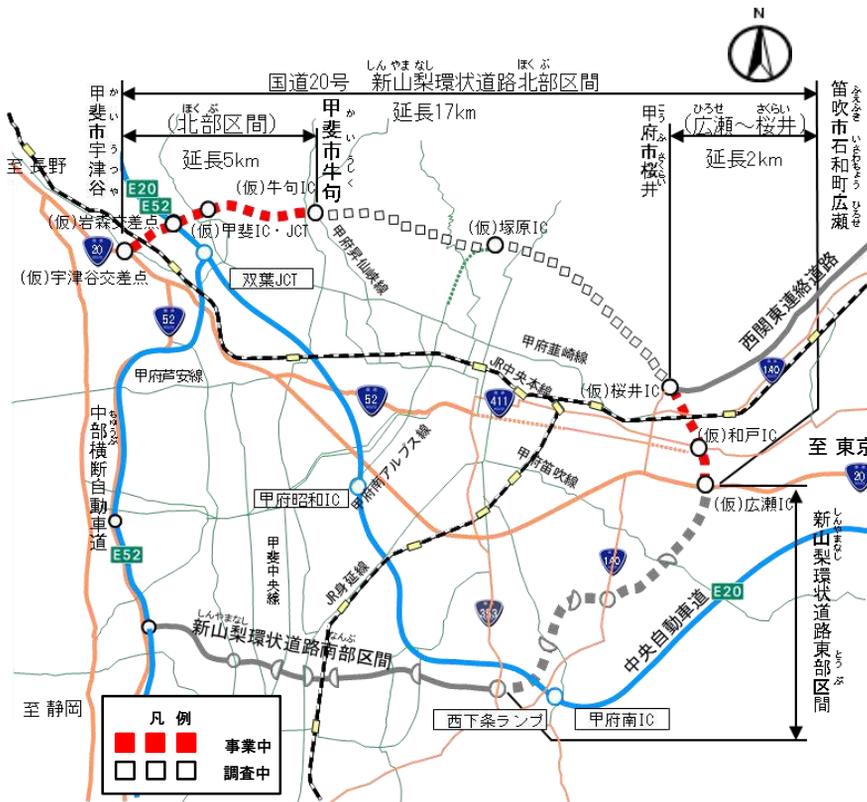
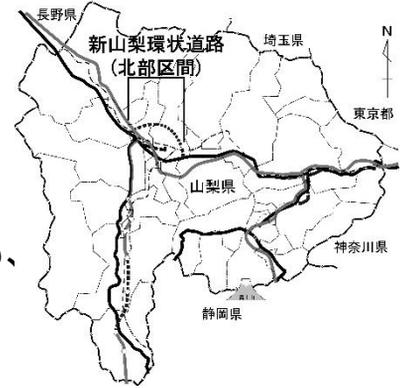
【事業の概要】

新山梨環状道路 北部区間は、甲府中心市街地から半径およそ5kmから7kmの位置に計画された環状道路の一部を形成する延長17kmの国道20号のバイパス事業です。

【令和2年度の予定】

(仮称)広瀬ICから(仮称)桜井IC間について、引き続き、調査設計を推進します。

また、(仮称)牛匂ICから(仮称)宇津谷交差点間についても、引き続き、調査設計を推進します。



■新山梨環状道路(広瀬～桜井)においては、CIMモデル※を作成し、地元説明会などで積極的に活用しています。



■CIMを活用した3次元モデルの設計イメージ

※CIM (Construction Information Modeling/Management) 詳細は、i-Construction推進のページ(P35)を参照

【事業の効果】

甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の分散により、国道20号や国道140号、主要地方道甲府韮崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や交通事故の減少が期待されます。

【事業の概要】

おおつき おおつき
国道20号大月バイパスは、大月市内の市街地の混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、大月市駒橋から同市大月町花咲までの延長3.2kmのバイパス事業です。

おおつき こまはし おおつき おおつき
平成19年度までに大月市駒橋から大月市大月二丁目(国道139号)間の延長1.7kmが開通しています。



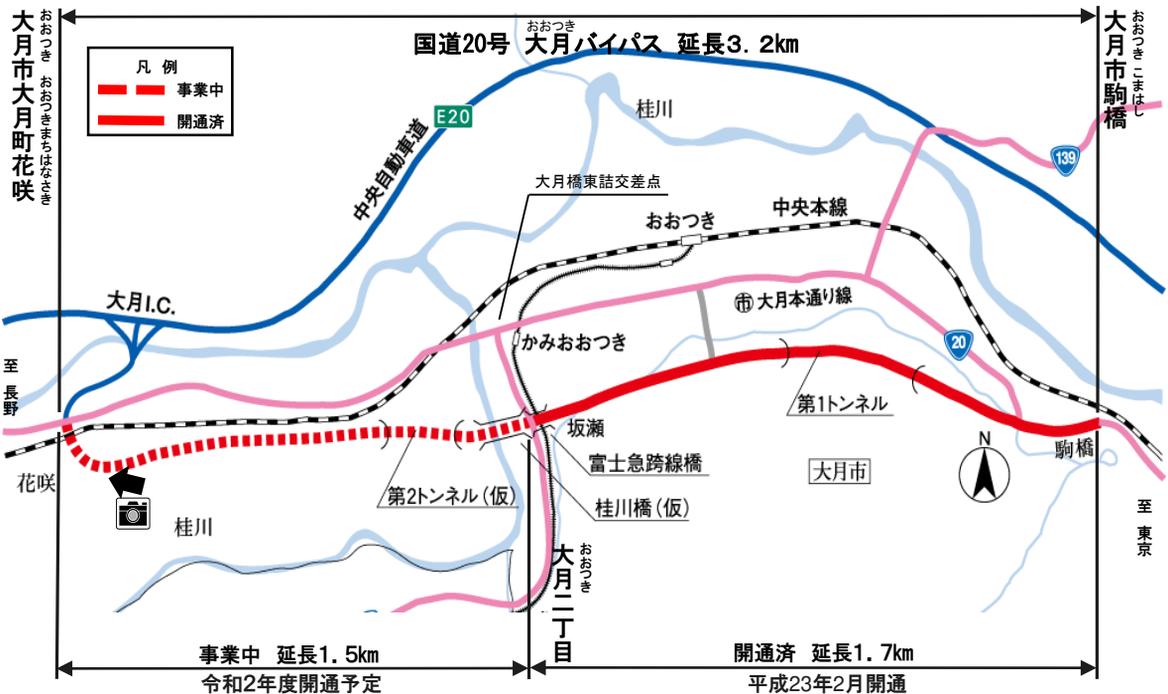
【令和2年度の予定】

令和2年度の開通に向け、調査設計、函渠工事、改良工事、舗装工、施設・設備工を推進します。



令和2年3月撮影

📷 施工状況 (甲府方面を望む)



【事業の効果】

- 大月市中心部の交通渋滞の緩和、通学路などの交通量減少による安全性の向上などの効果が期待されます。
- 世界遺産の富士山周辺の観光地へのアクセス性の向上が期待されます。

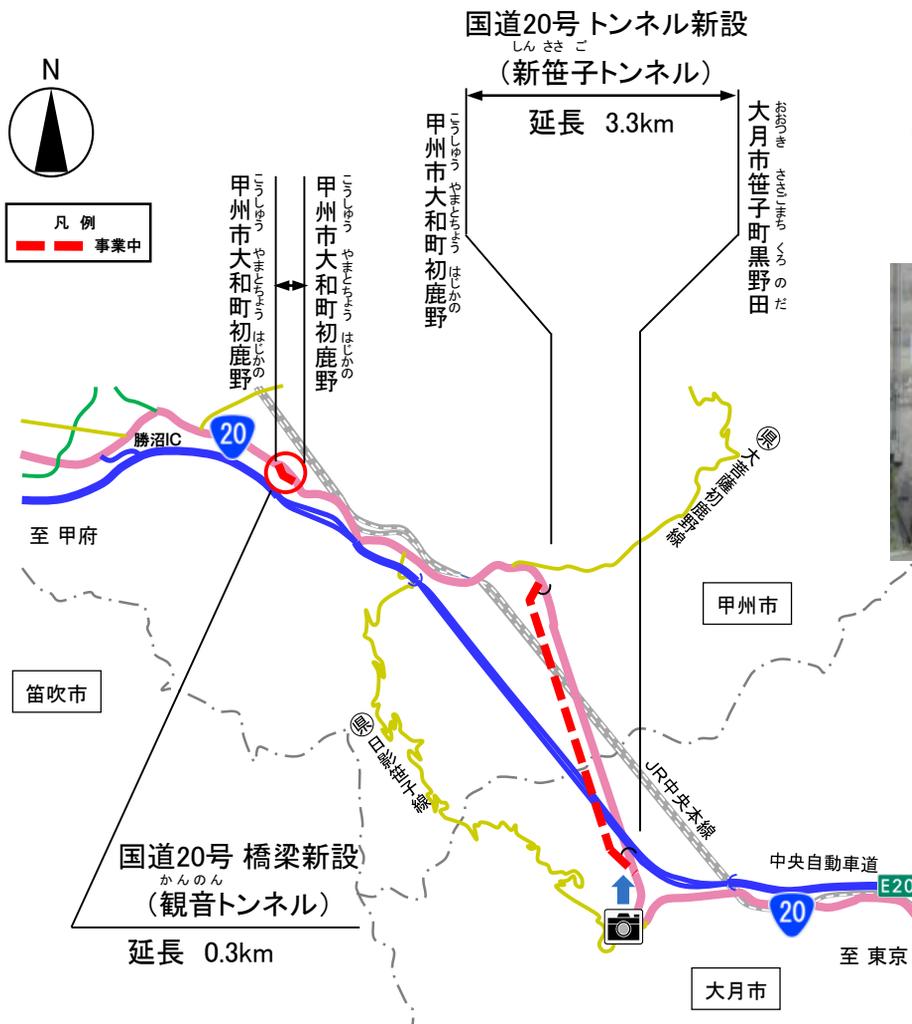
【事業の概要】

国道20号新笹子トンネル改修は、老朽化が著しく、また断面不足により背高コンテナの通行に支障をきたしている、山梨県大月市笹子町黒野田から甲州市大和町初鹿野の新笹子トンネルと、甲州市大和町初鹿野地先の観音トンネルの改修を行う事業です。

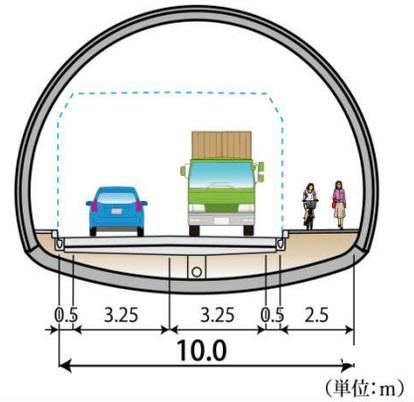
現在の新笹子トンネルについては、隣接地に新トンネルを整備し、観音トンネルについては、別線で橋梁を新設する計画としています。

【令和2年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収を推進します。



【新笹子トンネルの交通状況】
平成25年8月撮影



【新笹子トンネルの改修計画断面】

【事業の効果】

- 新笹子トンネル改修が完成することにより、通過交通の安全を確保することができます。
- 背高コンテナ等の大型車の通行も可能になることから、広域物流支援につながる事が期待されます。

【事業の概要】

国道52号上石田改良は、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町に至る延長1.0kmの道路拡幅事業です。平成26年4月21日には、甲府市上石田一丁目から甲府市寿町間の延長0.75kmの4車線化が完了しています。



【令和2年度の予定】

甲府市上石田一丁目から甲府市富竹一丁目に至る延長0.25kmにおいて、引き続き、調査設計、用地買収を推進します。



くがわ 貢川交番前交差点 交通状況 令和元年4月撮影



【事業の効果】

甲府市街地の交通渋滞の緩和、歩道設置等による歩行者の交通安全確保などが期待されます。

改築事業

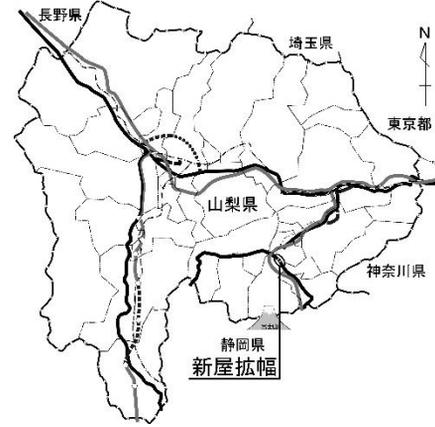
国道138号 新屋拡幅

あらや

令和2年度事業費:5.1億円

【事業の概要】

国道138号新屋拡幅は、富士吉田市上吉田七丁目から富士吉田市上吉田堰林に至る延長2.6kmの道路拡幅事業です。



【令和2年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収、舗装工事を推進します。



【事業の効果】

富士吉田市街地の交通渋滞の緩和、歩道整備による歩行者の交通安全確保及び災害時の避難路確保などが期待されます。

改築事業

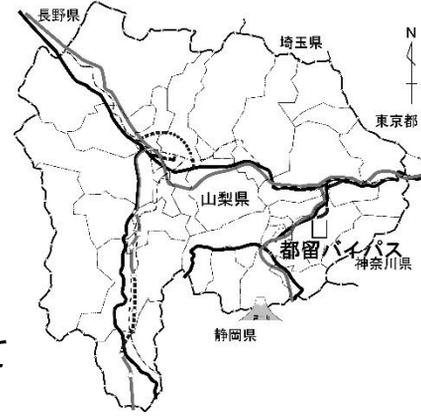
国道139号 都留バイパス

令和2年度事業費:0.7億円

【事業の概要】

国道139号都留バイパスは、都留市十日市場から都留市田野倉に至る延長約8.0kmのバイパス事業です。

平成22年度までに、主要地方道都留道志線から主要地方道四日市場上野原線までの延長5.6kmが開通しています。



【令和2年度の予定】

都留市田原から都留市上谷六丁目の一部区間において調査設計、舗装工事を推進します。



田原地区の歩車分離一部完成
令和元年8月撮影

【事業の効果】

都留バイパスの整備により交通の転換が図られ、国道139号(現道)の混雑緩和、交通事故の減少が期待されます。

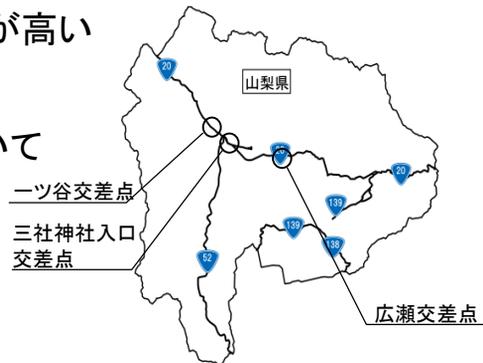
【事業の概要】

国道20号にらさき 葦崎市一ツ谷交差点、か い りゆうおう 甲斐市竜王(三社神社入口交差点)、ふえふき 笛吹市広瀬交差点においては、県内でも、交通量が多いため滞留が発生しやすい。また、変則的な形状の交差点であり、事故発生の危険性が高い交差点となっています。

本年度より、事故の減少を目的とし、3つの交差点について交通事故重点道路事業として調査・対策検討を行います。

【令和2年度の予定】

調査設計に着手します。



にらさき ひとつや
葦崎市一ツ谷交差点

か い りゆうおう さん じゃ じん じゃ いりぐち
甲斐市竜王(三社神社入口交差点)

ふえふき ひろせ
笛吹市広瀬交差点



至 北杜
道路状況

[令和2年3月撮影]



至 甲府
道路状況

[令和2年3月撮影]



至 甲府
道路状況

[令和2年3月撮影]



【事業の効果】

当該箇所では事故対策を行うことで、渋滞の緩和、交通事故の減少が期待されます。

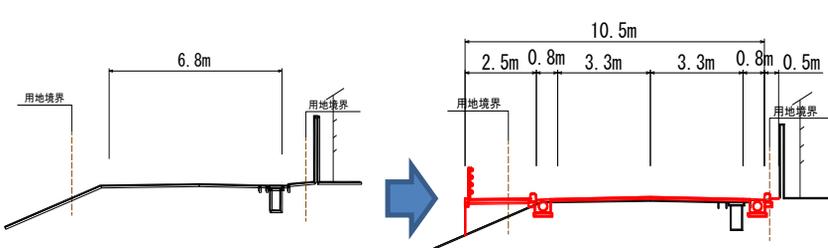
【事業の概要】

当該箇所は、国道20号の上野原市四方津地区の四方津駅前^{うえのはら しおつ}に位置し、近傍には、上野原市立西小学校^{にし}が立地し、上野原市バリアフリー基本構想で重点整備地区に位置づけられている区間です。また、通学路に指定されているものの、歩道が未整備であり、歩行者の安全性が確保されていない状況です。このため、延長0.4kmの歩道新設を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行います。



【令和2年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収を推進します。



【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。



歩道未整備状況
[令和2年4月撮影]

【事業の概要】

当該箇所は、国道20号のおおつき大月市はつかり初狩地区に位置し、家屋が連担している地域であるが、歩道が未整備であり、歩行者の安全性が確保されていない状況です。

このため、国道20号初狩地区歩道整備は延長0.2kmにおいて、歩道の新設や拡幅を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

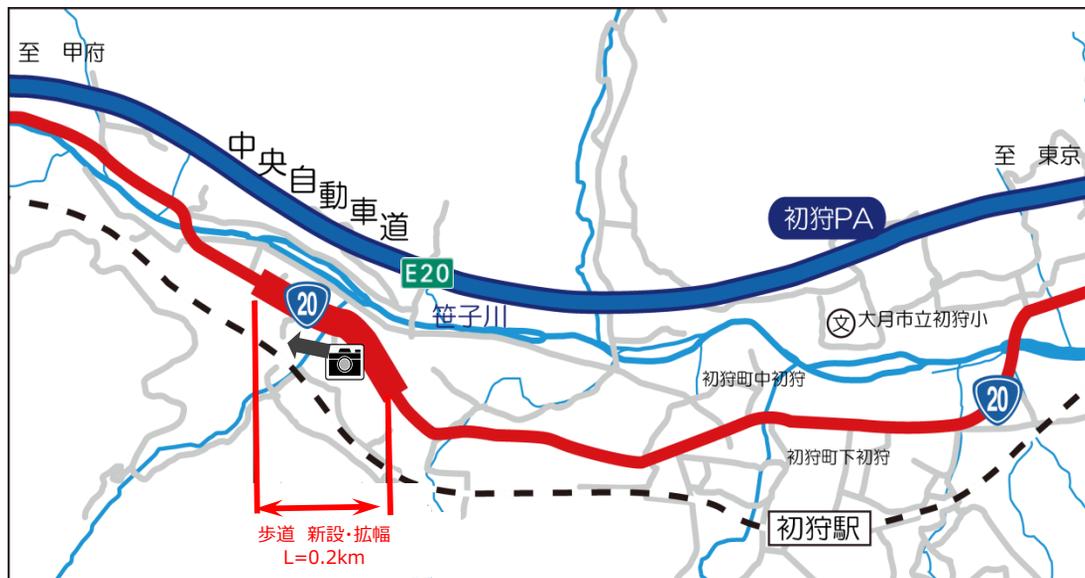
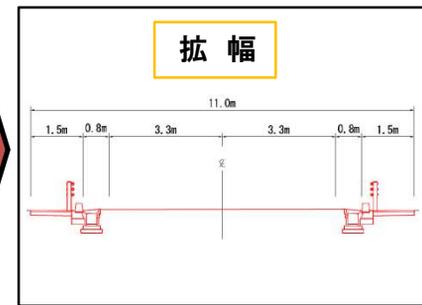
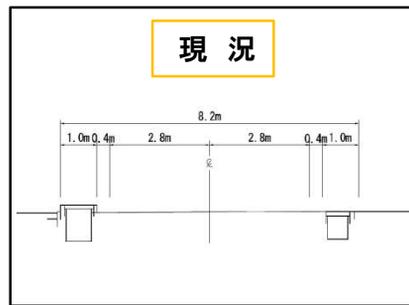


【令和2年度の予定】

引き続き、調査設計、用地買収を推進します。



歩道未整備状況
[令和2年4月撮影]



【事業の効果】

当該区間に歩道が整備されることにより、歩行者の安全・安心の向上が期待されます。

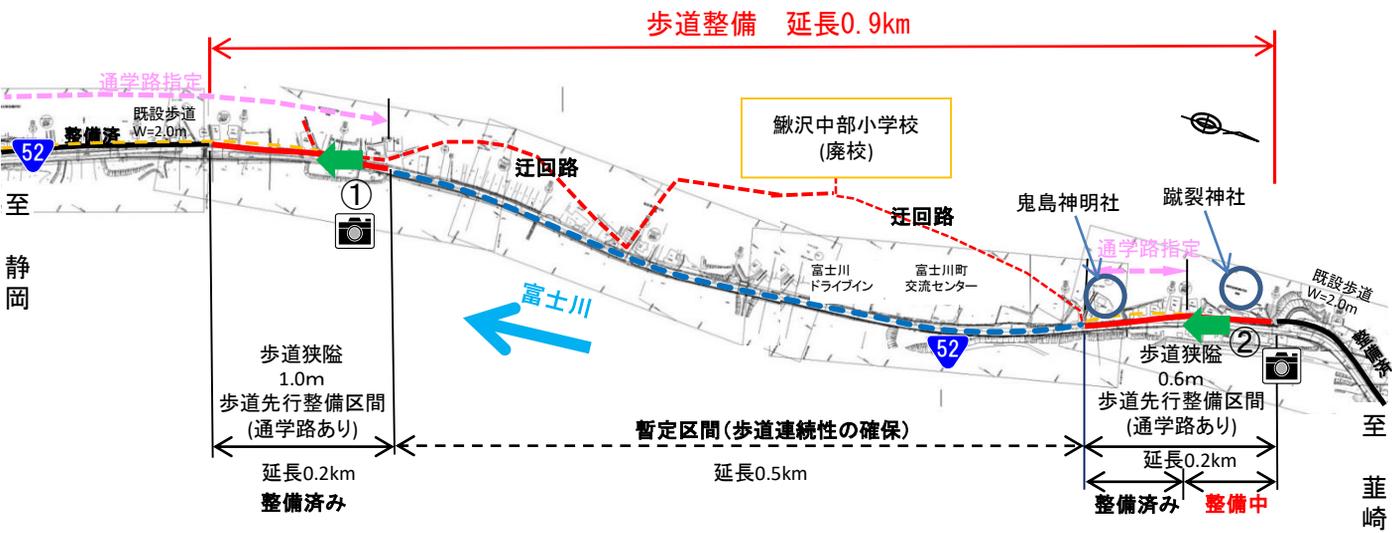
【事業の概要】

当該箇所は、国道52号の南巨摩郡富士川町鰺沢地区に位置し、家屋が連担している地域であるが、歩道が未整備であり、近傍の鰺沢小学校へはバス通学なので、歩行者の安全性が確保されていない状況です。

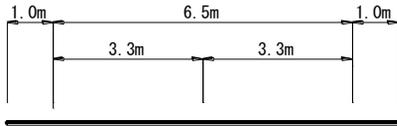
本事業は、延長0.9kmの歩道整備を新設することにより、安心・安全に通行できる歩行空間の確保を目的に行うものです。

【令和2年度の予定】

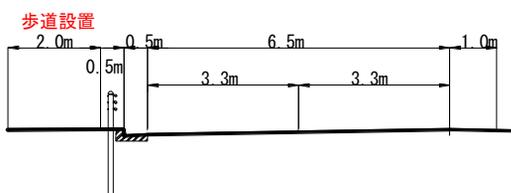
引き続き、調査設計、歩道設置工事を推進します。



現況断面図



計画断面図



歩道整備済み箇所



【令和元年2月撮影】

歩道未整備中



【令和2年2月撮影】

【事業の効果】

当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。

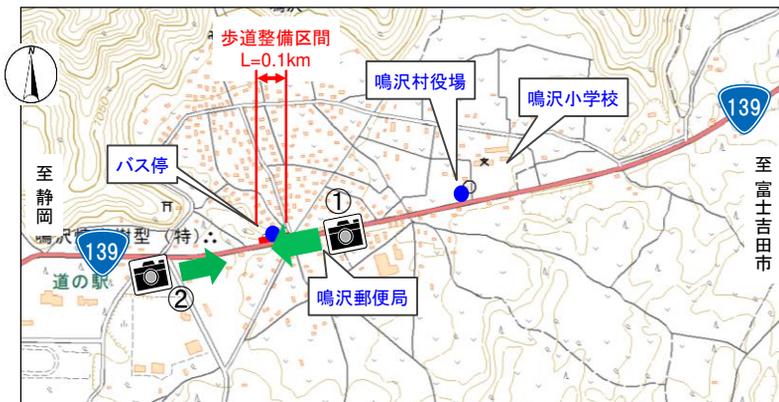
【事業の概要】

当該箇所は、国道139号の南都留郡鳴沢村鳴沢に位置し、歩道が整備されているものの、バス停が近い一部区間で歩道が未整備及び狭隘であるため、大型車両が歩行者の横を通行するなど非常に危険な状況です。

本事業は、歩道の新設及び拡幅を行い、歩行者が安全・安心に通行できる歩行空間の整備を行うものです。

【令和2年度の予定】

調査設計、歩道設置工事を推進します。



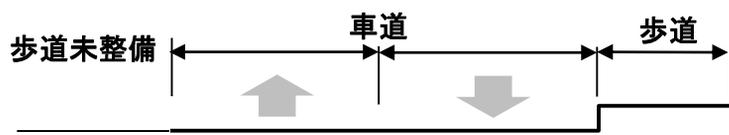
歩道未整備状況



バスレーン整備予定箇所



現況断面図



計画断面図



【事業の効果】

歩道整備により、歩行者の安全性の向上及び、歩道拡幅により、快適性向上が期待されます。

交通安全事業 国道138号 山中湖自転車歩行者道整備

令和2年度事業費:0.26億円

【事業の概要】

みなみつる やまなかこ

南都留郡山中湖村の山中湖畔には、湖畔を一周するサイクリングロードの中で、自転車歩行者道が未整備となっている区間があり、自転車利用者及び歩行者の安全が確保されていない状況です。このため、延長2.0kmの自転車歩行者道の新設を行い、自転車利用者及び歩行者が安全・安心に通行できる歩行及び通行空間の確保を行うものです。



至:御殿場市
山中湖
至:富士吉田市
①整備済み区間
[令和2年3月撮影]



至:御殿場市
山中湖
至:富士吉田市
②交通状況(整備中区間)
[平成30年4月撮影]



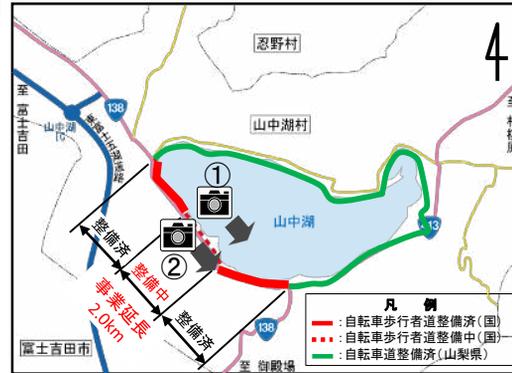
山中湖自転車歩行者道整備

【令和2年度の予定】

早期全線開通に向け、引き続き自転車歩行者道の調査設計を推進します。(約1.0kmが整備済みです)

【事業の効果】

- 当該区間の自転車歩行者道の整備により、歩行者、自転車の安全性向上が期待されます。
- 山中湖を一周するサイクリングロードが完成し、周遊観光の自転車道ネットワークが形成されます。



凡例
 - 自転車歩行者道整備済(国)
 - 自転車歩行者道整備中(国)
 - 自転車道整備済(山梨県)

その他の交通安全事業

箇所名	令和2年度事業内容
国道52号 <small>くがわ</small> 貢川地区歩道整備	工事を推進
国道139号 <small>かみくれち</small> 上暮地歩道整備	調査設計、工事を推進

【事業の概要】

国道20号甲斐電線共同溝は、甲斐市富竹新田から竜王まで、延長2.6kmの電線共同溝を整備する。甲斐市市街地やその周辺地区の経済活動・防災対応の拠点となるエリアにおいて、無電柱化することにより、安全で快適な歩行空間の確保並びに震災時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援するものです。

【令和2年度の予定】

電線共同溝調査設計、本体工事、路面復旧工事、引込連系管路工事及び連系設備工事を推進します。



■電線共同溝の整備イメージ



■状況写真



道路沿いの電柱・電線類
[令和元年4月撮影]

【事業の効果】

電線共同溝の整備により、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成等に寄与することが期待されます。

国道139号 富士北麓電線共同溝

無電柱化事業

ふじほくろく
富士北麓(2)電線共同溝

令和2年度事業費:3.2億円

【事業の概要】

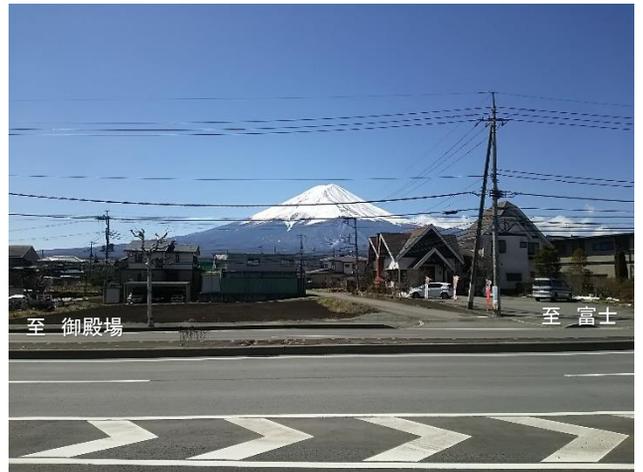
国道139号富士北麓電線共同溝は、山梨県南都留郡富士河口湖町船津から富士吉田市上吉田間約7.4km、また、富士北麓(2)電線共同溝は、山梨県南都留郡鳴沢村前原から南都留郡富士河口湖町船津間約7.1kmの電線共同溝を整備するもので、富士北麓地域の景観の向上及び、安全で快適な通行空間の確保を図るものです。



【令和2年度の予定】

電線共同溝調査設計、本体工事、路面復旧工事、引込連系管路工事及び連系設備工事を推進します。

■状況写真



富士山の眺望を阻害する電柱電線類 [令和元年4月撮影]

【事業の効果】

電線共同溝の整備により、道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成等に寄与することが期待されます。

【その他の無電柱化事業】

箇所名	令和2年度の事業内容
国道20号 甲府電線共同溝	本体工事を推進
国道20号 甲府住吉電線共同溝	電線共同溝調査設計及び移設補償を推進
国道20号 甲府徳行電線共同溝	電線共同溝調査設計及び移設補償を推進
国道139号 本栖精進電線共同溝	電線共同溝調査設計及び本体工事を推進
国道139号 鳴沢電線共同溝	電線共同溝調査設計及び本体工事を推進

維持管理(道路施設の補修①)

【事業の概要】

甲府河川国道事務所では、国道20号、52号、138号、139号、中部横断自動車道の5路線、総延長約255kmを管理しています。

安全で円滑な交通を確保するため、道路巡回、道路清掃等日常管理等を実施しています。

また、国民経済・生活を支える道路施設のインフラの機能維持の観点から、橋梁・トンネル等の定期的な点検・診断とそれに基づく補修等を着実に進めるとともに、防災・震災対策として、のり面对策や橋梁耐震補強、冠水対策等にも今年度までの3年間で集中的に取り組んでいます。

【令和2年度の予定】

1. 道路管理施設等の点検

橋梁点検, トンネル点検, 横断歩道橋点検, 道路附属物点検, のり面工・土工
構造物点検, 防災点検 等



橋梁点検実施状況



トンネル点検実施状況



道路附属物点検実施状況



防災点検(ブロック積)実施状況

維持管理(道路施設の補修②)

2. 道路管理施設等の補修・対策

【老朽化対策】

橋梁補修

国道 20号 : ^{やまと}大和橋 他

国道 52号 : ^{はきい}波木井高架橋 他

国道139号 : ^{ちようめい}長命橋



対策前



対策後



橋梁補修の事例(床版表面被覆工)



対策前



対策後



橋梁補修の事例(塗替塗装)

【防災・震災対策】

耐震補強

国道 52号 : ^{にしじま}西島第2橋、^{かい うん}開運橋、^{は き い}新波木井橋

国道139号 : ^{もとす}本栖橋

維持管理(日常の管理)

3. 日常管理

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保ち、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保するために、道路巡回、道路清掃、除草、及び樹木の剪定・伐採などの各作業を実施します。

また、除雪については、関係機関と連携しながら、必要に応じて災害対策基本法に基づく指定区間の通行止めや車両移動等を行い、着実かつ効率的な除雪作業を実施します。



道路巡回状況



道路清掃作業状況



除草作業状況



除雪作業状況



支障樹木伐採(作業前)



支障樹木伐採(作業後)

道路メンテナンス会議

～県内の道路管理者が連携して道路橋等の老朽化対策を進めています～

【事業の概要】

山梨県内の道路橋の約60%は、1950年代後半から1980年代前半にかけて建設されており、建設後50年を経過した橋梁が数多く存在しています。

こうした道路施設の老朽化に対応して、適切な維持管理を行っていくことを目的として、点検基準の法定化、国による修繕等代行制度の創設について、平成25年6月に道路法が改正され、平成26年度から、すべての道路管理者に対して5年に1回の近接目視点検を実施することが義務付けられました。

これを受けてメンテナンスサイクル(点検→診断→措置→記録)を回す仕組みとして、県内のすべての道路管理者が参画する「山梨県道路メンテナンス会議」が平成26年5月に設置されました。

【令和2年度の予定】

山梨県内の道路施設を安心して利用できるように、県内のすべての道路管理者と協力して、メンテナンスサイクルの実施に取り組みます。

跨線橋の点検や修繕工事にあたっては、鉄道事業者との協議が円滑に進むように、道路管理者の点検計画や修繕計画を一括してとりまとめ、鉄道事業者と調整する連絡会を実施します。

自治体支援を目的とした「地域一括発注」、道路管理者としての点検技術力の向上を目的とする研修や講習会を実施します。

道路利用者や地域住民の皆さんから、道路施設の老朽化の現状と対策への理解を得るための取り組みも進めてまいります。

【参考①】 令和元年度の主な取組



山梨県道路メンテナンス会議



溝橋定期点検講習会

- 令和元年度山梨県道路メンテナンス会議
R2. 2. 3

- 令和元年度山梨県道路鉄道連絡会議
R2. 2. 3

- 溝橋定期点検講習会

- 学生を対象とした講習会

- 点検支援技術(新技術)活用講習会

R1. 9. 27

R1. 10. 8

R1. 10. 29

R2. 2. 7

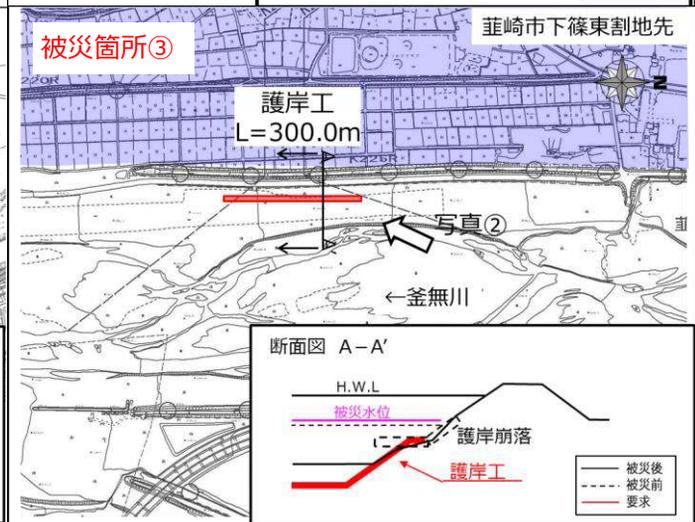
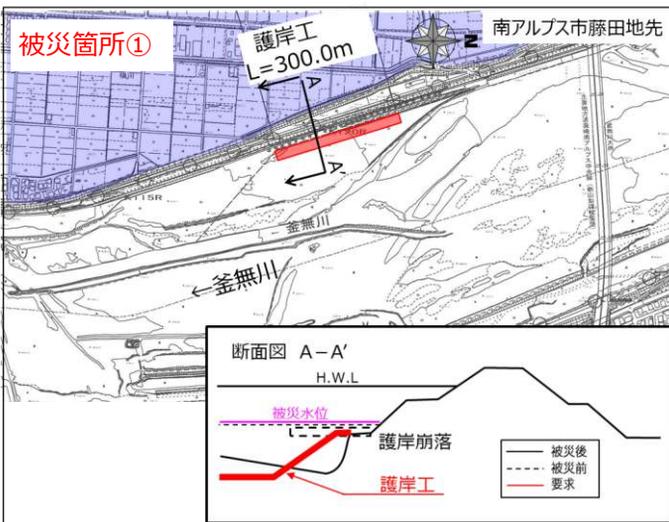
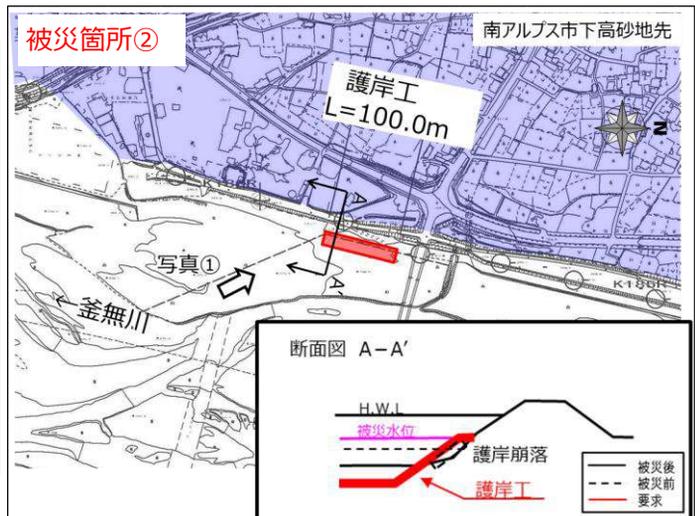
【事業の概要】

令和元年10月の台風第19号に伴う豪雨により、釜無川の水位が上昇し、護岸の一部が崩壊が発生した。

今後の豪雨に対し、さらなる護岸崩壊による破堤のリスクを防ぐ必要があるため、推進費を活用して緊急的に釜無川の護岸整備を行うことで再度災害防止を図り、地域住民の安全・安心を確保する。

【令和2年度の予定】

南アルプス市藤田地区、下高砂地区、韮崎市下條東割地区の護岸を実施します。



【事業の効果】

堤防強化対策として護岸を整備し、侵食による浸水被害の安全性の向上を図ります。

道路災害復旧事業 国道20号 ほううんじ ばし 法雲寺橋災害復旧

【事業の概要】

法雲寺橋は、国道20号大月市初狩町下初狩地先に位置し、昭和34年に施工された橋梁である。

令和元年10月の台風19号による異常降雨により、甲府側のP6及びP7における橋脚沈下により、前後の上部工が傾斜し被災したものである。

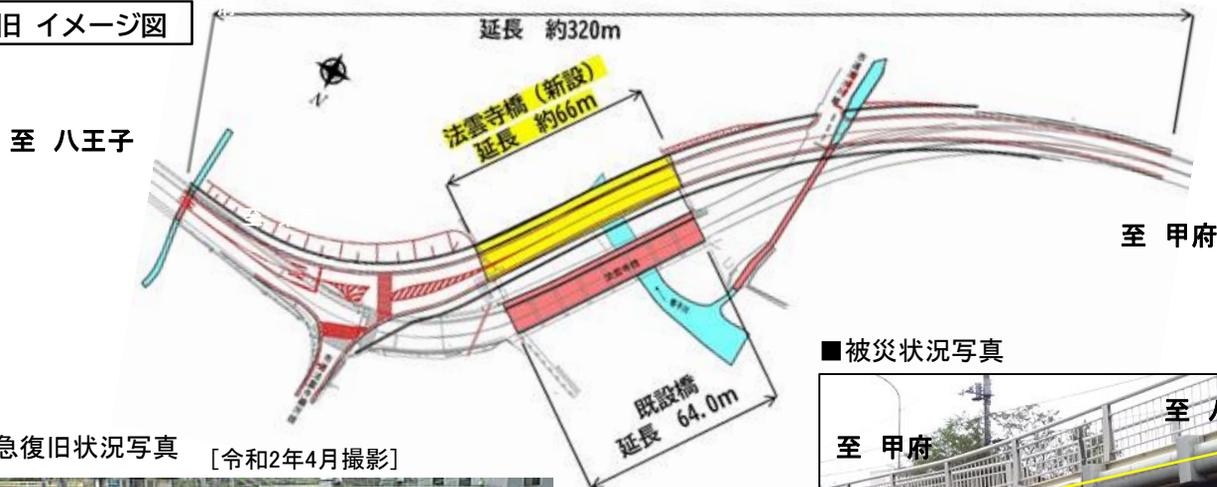
発災直後より、応急復旧工事に着手し、翌月11月29日に応急復旧が完了し、令和3年度の本復旧に向けて、被災した歩道部やP6及びP7橋脚の撤去工事を実施中。



【令和2年度の予定】

調査設計、用地買収、橋梁の本復旧工事。

本復旧 イメージ図



■ 応急復旧状況写真

[令和2年4月撮影]



■ 被災状況写真



【事業の効果】

法雲寺橋の架替えにより、車道幅員の見直しや両側に歩道が整備されることで、歩行者等の安全・安心の向上が期待されます。

【概要】

国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction(アイ・コンストラクション)を進めています。

甲府河川国道事務所は、平成31年3月に全国10事務所の「i-Construction モデル事務所」として選定され、i-Constructionを一層促進し、CIMをはじめ3次元データに取組み、建設生産・管理システム全体の効率化を進めます。

【甲府河川国道事務所での3次元データ活用の取組状況】

1. 設計段階

①設計照査への活用

→交差道路や支障物との離隔確認

②関係機関調整への支援 等

→交差点内の見通しの確認

CIMモデルとは、対象とする構造物等の形状を3次元で表現した「3次元モデル」と「属性情報」を組み合わせたものを指す。

(交差道路との離隔確認事例)

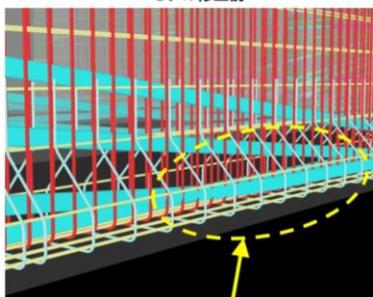


(交差点内の見通し確認事例)



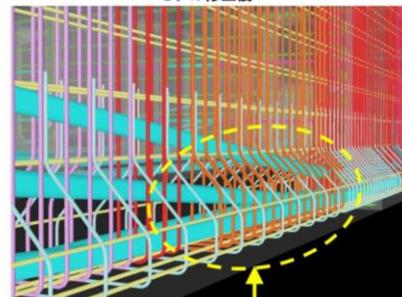
(3次元設計データを用いた鉄筋の干渉確認事例)

モデル修正前



シースの平面変化によりスターラップ筋との干渉

モデル修正後



スターラップ筋の加工形状変更により解消

2. 施工段階

①設計確認の品質向上

→3次元設計データを活用した鉄筋の干渉確認

②施工作業の安全性・理解度向上

③映像、通信機器等を活用した監督・検査の効率化 等

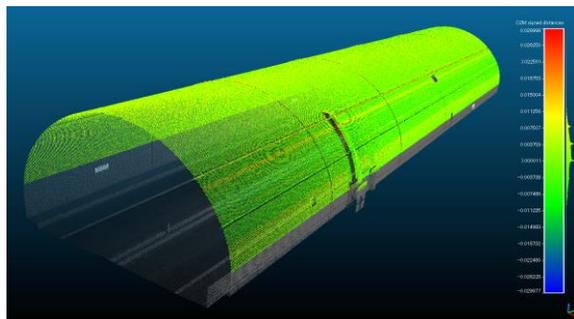
(3次元点群データ等を活用したモニタリング事例)

3. 管理段階

①構造物の変状確認

→3次元点群データ等を活用した車線規制を伴わないトンネル点検

②点検日誌作成の効率化 等



甲府河川国道事務所ではi-Constructionを推進するために、設計・施工・管理の各段階において3次元データ活用の取組を行ってきました。令和2年度も引き続き3次元データ活用を推進していきます。